

社会福祉学原理演習

[演習] 1年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この演習では、社会福祉学原理特論の講義にもとづき、各テーマに関する基本的な文献について講読する。

【学修目標】

この演習では、事象としての「社会福祉・ソーシャルワーク」を具体的に再審問することを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	社会福祉学原理の基本的枠組み	分析枠組みの整理	志水
2	ソーシャルワークの社会的再編	関連文献の講読と応用	志水
3	交換様式の位相(互酬制 商品交換 制度的再分配)	関連文献の講読と応用	志水
4	交換原理と制度的再分配原理	関連文献の講読と応用	志水
5	社会構成体の歴史(資本 ネーション 国家)	関連文献の講読と応用	志水
6	功利主義的規範と社会福祉	関連文献の講読と応用	志水
7	リベラリズムの規範と社会福祉	関連文献の講読と応用	志水
8	コミュニタリアンの規範と社会福祉	関連文献の講読と応用	志水
9	グローバルな正義とコスモポリタニズム	関連文献の講読と応用	志水
10	贈与(日常)と援助(専門)	関連文献の講読と応用	志水
11	welfare(特殊)とwell-being(一般)	関連文献の講読と応用	志水
12	積極的価値(幸福、人権、自立)と消極的価値(具体的な悪の除去)	関連文献の講読と応用	志水
13	アイデンティティ・クライシス(交換的正義と分配的正義の葛藤)	関連文献の講読と応用	志水
14	正義と普遍性(リベラリズムの可能性)	関連文献の講読と応用	志水
15	社会福祉学原理の課題と展望	全体の総括	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等については、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜提示する。

【学修の準備】

現代社会における社会福祉諸問題の中から、原理的課題を鋭く読み取り、そこに内在する論点の明示化に向けた思考を常に意識すること。

(2026年度・大学院 看護福祉学研究科)

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。